

株式会社ニッソウ

2023年7月期
第3四半期
決算説明資料

東証グロース市場/名証ネクスト市場

証券コード 1444



第3四半期トピックス

 最新レポート

 第3四半期 決算概要

- ▶完成工事高
- ▶損益計算書
- ▶貸借対照表

 今後の展望

- ▶エリア強化/人材投資
- ▶グロース戦略
- ▶2023年7月期業績予測
- ▶2023年7月期通期計画

コミットメントライン契約の締結

✓ 今後の積極的な事業展開に備え、安定的かつ機動的な資金調達手段を確保

本契約の概要

(1) 契約締結先	株式会社りそな銀行
(2) 契約形態	コミットメントライン契約
(3) 契約極度金額	1億円
(4) 契約締結日	2023年3月31日
(5) 契約期間	2023年3月31日から2024年3月31日まで
(6) 担保の有無	無担保無保証



子会社設立について

✓ 2023年3月1日「日本リゾートバンク」設立

✓ リフォーム事業で得たノウハウ及び幅広いネットワーク力を活用し、リゾート物件を取り扱う不動産業への進出

名称	日本リゾートバンク株式会社
所在地	神奈川県藤沢市
代表者	代表取締役社長 石川 一樹
事業内容	リゾート物件の売買・売買仲介事業、その他関連事業
資本金	1億円
設立	2023年3月1日
出資	当社100%

M&Aについて

- ✓2023年3月に株式会社ヤナ・コーポレーションとの間で株式譲渡契約を締結
- ✓2023年5月にニッソウのグループ入り
- ✓リフォーム事業のさらなる拡大、シナジー効果を期待

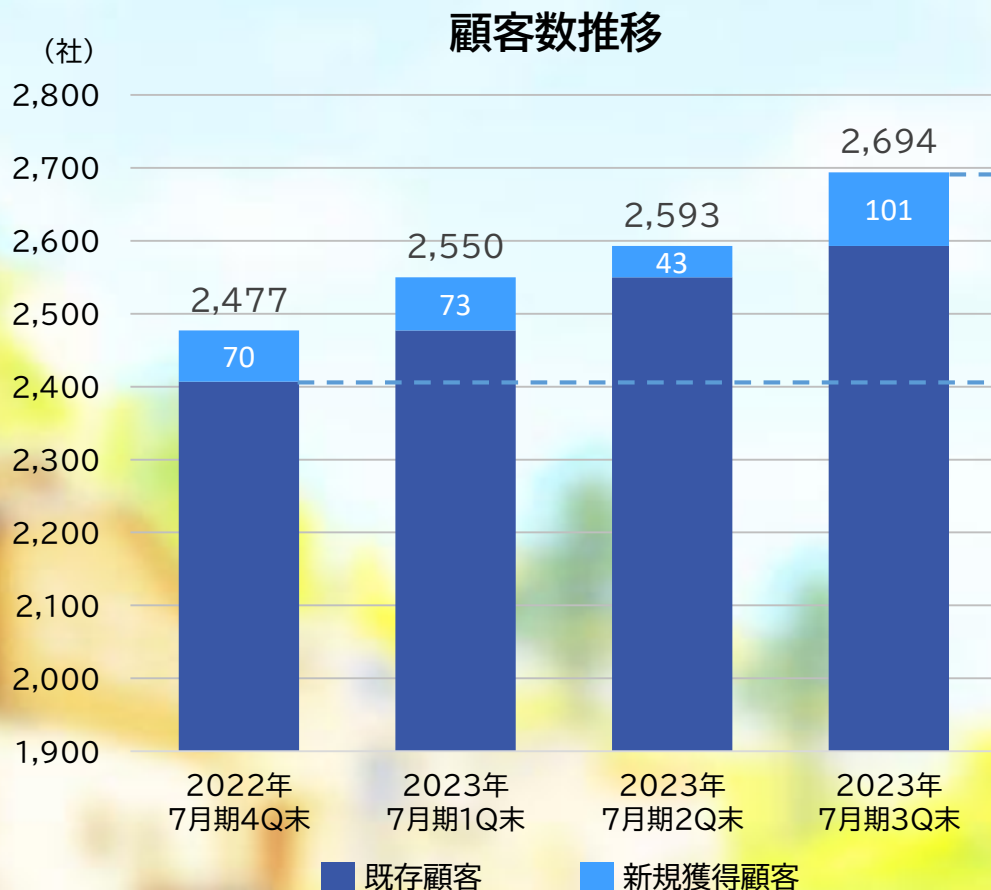
子会社の概要

名称	株式会社ヤナ・コーポレーション
所在地	埼玉県所沢市北野
設立	1997年6月(平成9年)
事業内容	建築事業、土木事業、リフォーム事業、飲食業、その他
資本金	20百万円

第3四半期 決算概要

顧客登録数推移

✓ 2023年7月期 第3四半期会計期間の顧客獲得数は101社。
総累計は2,694社となる。



1年間で

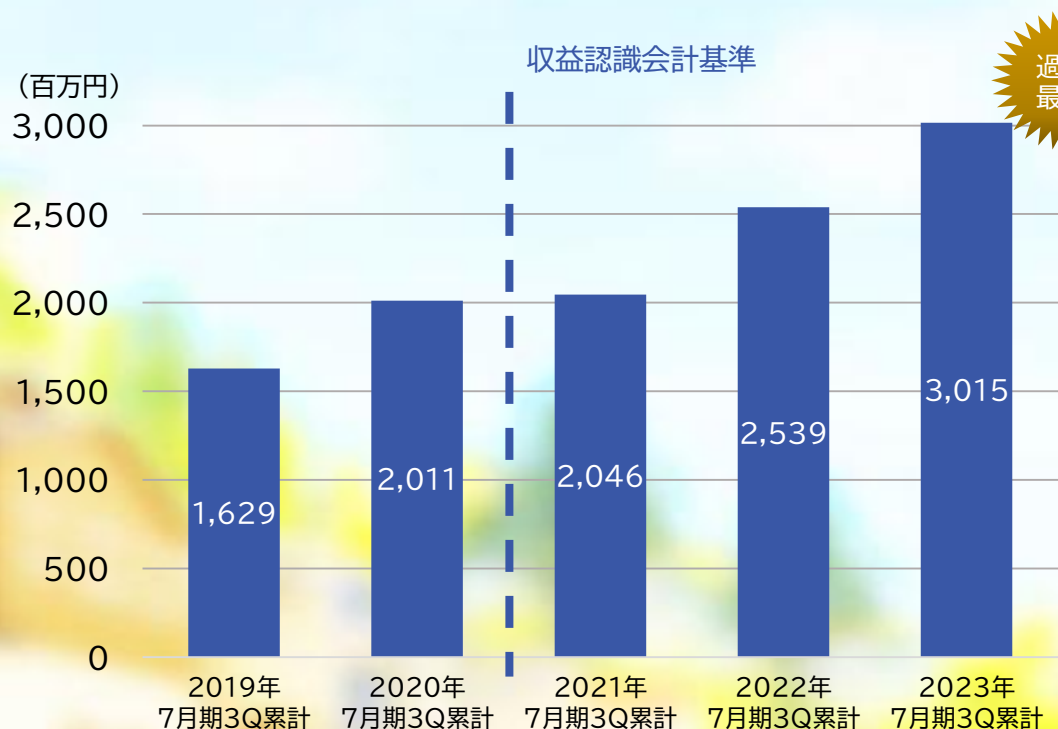
287
社獲得

※弊社との契約後、弊社販売管理システムへ顧客登録をした各期末時点での累計登録会社数になります。

完成工事高

✓ 2023年7月3Q累計の完成工事高(売上高)は3,015百万円。
前年同期比は、18.8%増。

完成工事高推移



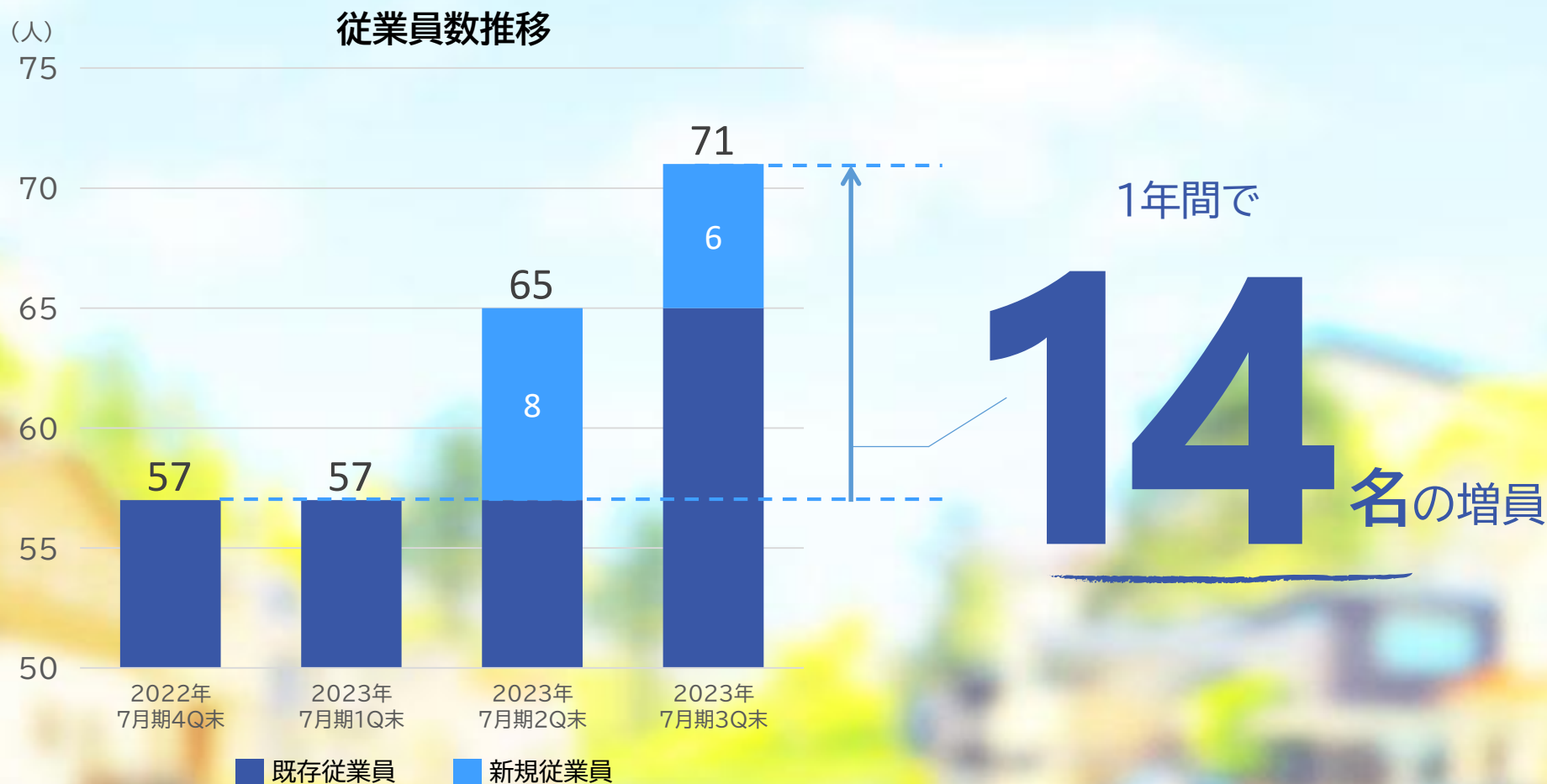
前年同期比

18 %以上
増加!

※2022年7月期期首より、収益認識会計基準等を適用しており、2021年7月期3Q累計期間については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。
また、2019年7月期3Q累計期間及び2020年7月期3Q累計期間に関しては工事完成基準を適用しております。
なお、2019年7月期3Qについては監査法人の四半期レビューを受けておりません。

従業員の増員について

✓2023年7月期 第3四半期は6名の増加。累計期間では合計14名の増加。



※各四半期末時点での従業員数になります

損益計算書

損益計算書 (単位:千円)	2022年7月期 3Q累計	2023年7月期 3Q累計	増減額	増減率	増減の主な内容
完成工事高 (売上高)	2,539,124	3,015,273	+476,149	+18.8%	工事単価の増加による
完成工事原価 (売上原価)	1,914,318	2,287,781	+373,463	+19.5%	完成工事高が増加したことに伴う 外注費、材料費の増加による
完成工事総利益 (売上総利益)	624,806	727,492	+102,686	+16.4%	
販管費	464,615	576,005	+111,389	+24.0%	人員増加による人件費の増加、広告 宣伝・求人強化に伴う費用の増加、 株主優待費用等による
営業利益	160,190	151,486	△8,703	△5.4%	
営業外損益	885	3,838	2,952	+333.4%	投資活動に伴う配当金受取や貸倒 実績の減少による貸倒引当金の 戻入額の発生等による
経常利益	161,076	155,324	△5,751	△3.6%	
特別損益	△806	727	+1,534	-	前期は固定資産除却損が発生、今期 は固定資産除却益が発生したこと による
当期純利益	99,774	92,838	△6,935	△7.0%	

貸借対照表

貸借対照表 (単位:千円)	2022年7月期 期末	2023年7月期 第3四半期末	増減額	増減額の内容
流動資産	1,566,546	1,573,015	+6,468	現金及び預金が減少した一方、販売用不動産、完成工事未収入金及び契約資産、流動資産その他が増加したことによる
固定資産	123,933	626,369	+502,436	関係会社株式、投資有価証券、投資その他の資産その他、無形固定資産が増加したことによる
資産合計	1,690,479	2,199,384	+508,904	
負債	343,665	696,074	+352,408	流動負債その他が減少した一方、短期借入金、賞与引当金、未成工事受入金が増加したことによる
純資産	1,346,814	1,503,309	+156,495	四半期純利益の計上に伴い利益剰余金、第三者割当増資による募集株式の発行に伴い、資本金、資本剰余金が増加したことによる
負債純資産合計	1,690,479	2,199,384	+508,904	

今後の展望

首都圏エリアの強化 / 海外進出検討

- ✓ 首都圏エリアの強化により収益基盤を拡充
- ✓ エリア拡大した地域への細やかでスピーディーなアプローチを実現



- ✓ 東南アジア進出も検討



積極的な人材投資

「教育制度の強化」



- 教育体制の強化
- 指導カリキュラムの見直し
- 管理職育成 等

「人員増強」



- 積極的な採用活動
- ブランドイメージの向上
- 広報活動の拡充 等

「働きやすい環境づくり」



- 風通しの良い社風づくり
- ダイバーシティの推進
- 社内交流の活性化 等

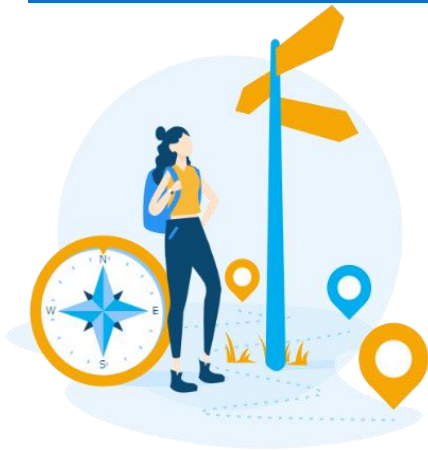
「職人養成スクールを検討」



グロース戦略

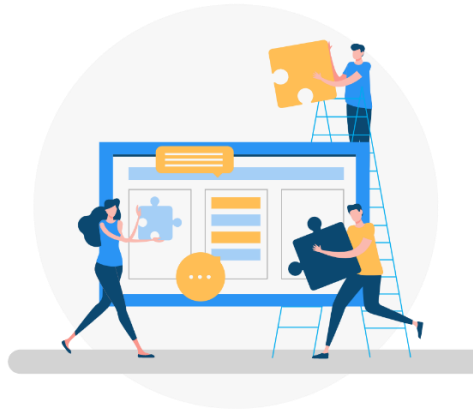
✓ 既存ビジネスモデルをより強化するため、以下も合わせて実施

新規顧客開拓



東京都を中心とした関東圏の
新規顧客を開拓
原状回復工事を中心とした
リフォーム工事の地域シェア拡大

事業領域の拡大



既存3種の工事受注件数増強に
加え、外装・共用部工事等、周辺
事業内容拡大
既存顧客の深耕

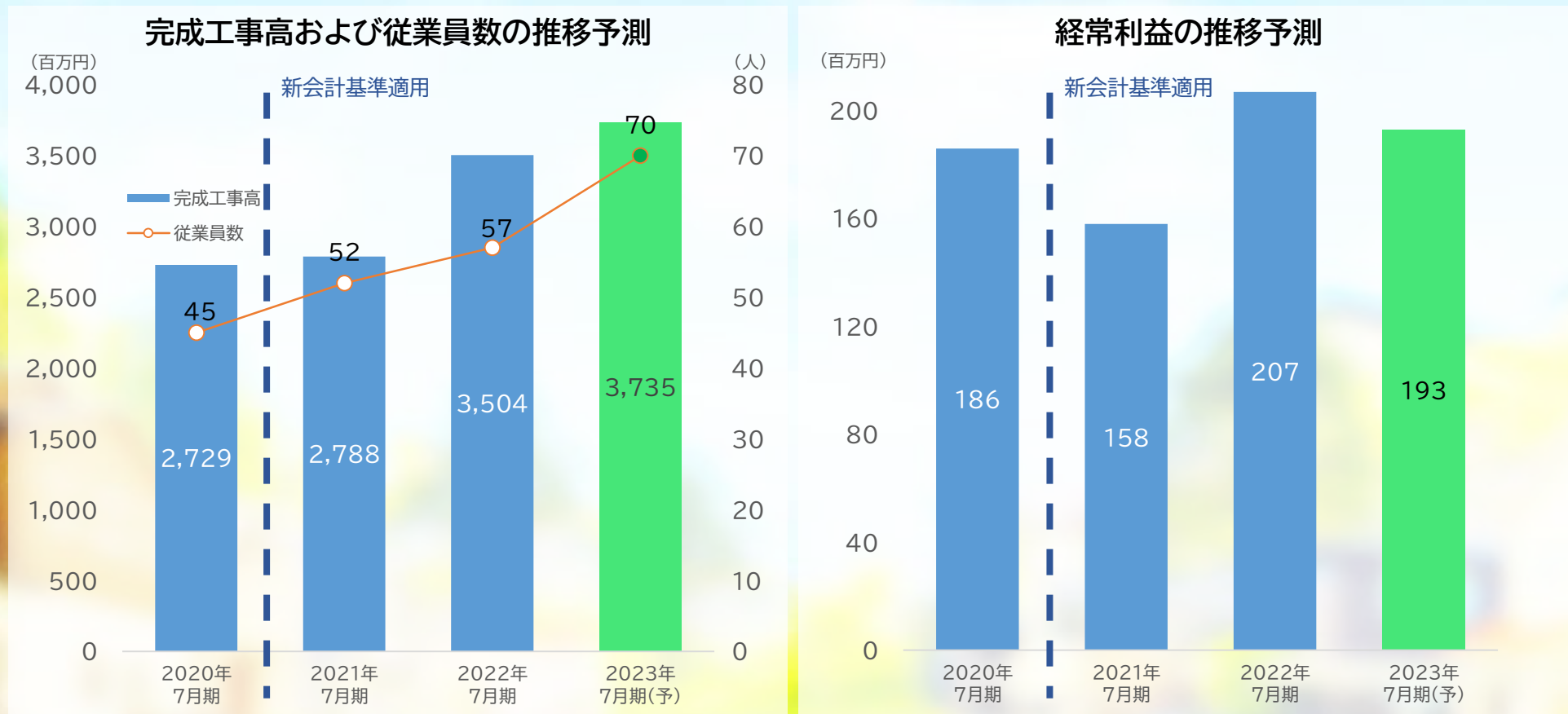
外注先・仕入先の拡充



新たな外注先の開拓と確保、
および定着
豊富な仕入先との提携

2023年7月期 業績予測

- ✓ 2023年7月期は完成工事高3,735百万円、
- ✓ 経常利益193百万円、当期純利益123百万円を見込む



※2022年7月期期首より、収益認識会計基準等を適用しており、2021年7月期については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。
なお、経常利益については本会計基準適用による増減はありません。

2023年7月期 通期計画

- ✓ 積極的な新規顧客の開拓をさらに進めて行く
- ✓ 人材育成及び人材採用の強化による将来への投資をより積極的に行う

(単位:千円)	2022年7月期	2023年7月期 (予測)	増減額	増減率
完成工事高 (売上高)	3,504,776	3,735,949	+231,172	+6.6%
完成工事原価 (売上原価)	2,645,620	2,797,303	+151,682	+5.7%
完成工事総利益 (売上総利益)	859,156	938,645	+79,489	+9.3%
販管費	638,970	744,980	+106,010	+16.6%
営業利益	220,185	193,665	△26,520	△12.0%
経常利益	207,531	193,659	△13,871	△6.7%
当期純利益	136,970	123,471	△13,498	△9.9%

ご清聴ありがとうございました。



【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中に業績予想ならびに将来予想は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きくことなる場合があります。